

湘南ひらつか七夕まつり

自衛隊神奈川地方協力本部
平塚地域事務所（所長 小田 桐一陸尉）は、7月6日（土）見附台公園（平塚市）において、湘南ひらつか七夕まつり実行委員会が主催する。「第69回湘南ひらつか七夕まつり」を支援した。

当日はあいにくの曇り空であったが、約3,000人の来場者が、会場内の飲食ブース、ステージイベントなどに訪れ、にぎわいを見せた。

自衛隊ブースでは、各種職種パネル展示、制服・迷彩服の試着、及び神奈川地本キャラクター「はまちゃん」撮影イベントなどを実施し、陸上・海上自衛隊の子供迷彩・制服を着用し笑顔で写真を撮る多くの家族連れの姿が印象的であった。

午後は、近隣市町村及び企業から参加したゆるキャラたちが、ステージパフォーマンスを繰り広げ、「記念撮影の際、『はまちゃん』の周りは、一際多くの人だかりが出来た。

平塚地域事務所では、「今後も、地域に密着した広報活動を実施するとともに、関係部隊等とも連携を密にして、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、募集広報にもつなげていく」としている。



航空自衛隊入間基地の見学会に参加して ～パイロットになった自分をイメージできた～

自衛隊神奈川地方協力本部 上大岡募集案内所（所長 平原一陸尉）は7月23日（火）、今年度の航空学生受験を考慮している対象者に参加を呼び掛けて、航空自衛隊入間基地の見学会を計画し案内した。梅雨がまだ明けず、出発時は雨がパラパラ降っていたが、現地に着るとは晴れはすっかり晴れて絶好の見学日和となった。到着するや否や航空自衛隊中部航空方面隊司令部支援飛行隊の飛行隊長 小井谷 啓2空佐以下、部隊の皆さんの出迎えを受け、早速、同部隊所属で元ブルーインパルス1番機パイロットの安田3空佐との懇談会からスタートした。安田3空佐のユーモアを交えた優しい語り口に参加者はすぐに和み、「教育中はすぐ休憩を取れますか」「自分は食事を食べる速度が遅いけど大丈夫ですか」などと、すでに航空学生になった気分で見聞している様子が見て取れた。懇談の後は、パイロットが身に付ける救命胴衣などの試着を行い、引率した広報官の写真撮影に上機嫌でポーズをとっている姿が印象的だった。

次のT-4中等練習機の見学では、一人ずつコックピットに乗り込み、隊員の説明に聞き入っていた。最後に全員で機体の前で記念撮影をし、入間基地を後にした。参加者からは、「体験して更に興味が湧いた」「パイロットになった自分をイメージできた」「楽しかったです」などの声が続いてきた。

上大岡募集案内所は、「今後も部隊の協力を得ながら、このような対象者の部隊等見学を積極的に取り入れ、受験及び入隊意欲の向上を図ってきたい」としている。



パイロット服に御満悦の参加者



娘さんのパイロット姿に保護者も感激

